

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

トーヨーエイトック株式会社 東広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台2丁目2番4号

(3) 業種

2641 金属工作機械製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和4（2022）年度から令和12（2030）年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	3,936	1,392 64.6	3,462 12.0	3,589 8.8	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	3,936	1,392 64.6	3,462 12.0	3,589 8.8	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	消費電力の削減	【令和6年度CO2排出量目標】 3084t-CO2 【令和6年度CO2削減目標】 505t-CO2	1. 事務所の蛍光灯をLEDに交換 2. 設備のエアークロス削減 3. コンプレッサーの間欠運転 4. コンプレッサー圧力の低下 5. チラーの冷水温度の変更（温度を上げる）
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃プラスチックの削減	前年度比2%の削減	ウォーターサーバーのペットボトルをリユースし、468本/年を削減
2	廃油・廃液の削減	前年度比2%の削減	・ 設備の交換サイクルの見直し ・ 廃油をろ過し、再利用する
3	コピー用紙の削減	前年度比2%の削減	電子印、電子承認を導入し、注文書、報告書の電子化

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。